

石川町

議会だより

No. 199

令和元年 5月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会



▲楽しい思い出を胸に旅立ちます(第2保育所満了式)

2019

3月定例会

P2 **3月定例会 審議結果**

P6 **紙上中継(常任委員会)**

P7 **3月定例会 一般質問**

P14 **議会報告と
町民の意見を聞く会**

予算決まる

総額112億2,187万円



▲親子で遊びにおいでよ（モトガッコ屋内遊び場）

平成31年3月定例会は、3月7日から19日までの13日間の会期で開かれ、条例案件10件、補正予算4件、当初予算9件、規約締結の協議1件、人事案件1件、請願2件、議員発議等4件の合計31件を審議しました。
一般質問には、7人の議員が登壇し、町政を問いました。また、85人の傍聴がありました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、県中教育事務所管理主事などを歴任し、石川中学校長として4年間活躍をされました小玉陽彦氏（大字塩沢字割田作）を、原案のとおり全員異議なく同意しました。



石川町教育委員会
教育長の
任命について

令和元年度 一般会計・特別会計

「共に創る 幸せ実現のまち」

保健・福祉・医療

健康で元気に暮らせるまち
事業費／59億3,708万円

- 地域福祉の推進
- 児童福祉の充実
- 保健・医療の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 保険制度
- 人権尊重・権利擁護の推進

産業・観光

活力ある産業を形成するまち
事業費／6億3,913万円

- 農林業の振興
- 商工業の振興
- 雇用の創出
- 観光の振興

教育・文化・スポーツ

豊かな心・町民文化を育むまち
事業費／10億3,299万円

- 生涯学習の充実
- 社会教育の充実
- 学校教育の充実
- スポーツの振興
- 鉱物の保存・活用
- 文化の振興と歴史資源の継承

防災・生活環境

安全で住みよいまち
事業費／12億6,612万円

- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 資源循環の推進
- 放射能対策の推進

生活基盤

都市機能が充実したまち
事業費／11億7,182万円

- 土地利用の推進
- 生活道路の充実
- 河川環境整備の推進
- 住環境の整備
- 上水道の整備
- 公共交通網の整備

地域自治・行政運営

共に創るまち
事業費／3億3,303万円

- 協働による地域づくりの推進
- 効率的な行財政運営
- 町民参加
- 広域行政・地方分権
- 情報化の推進
- まちなか再生の推進

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果	
議案 第7号	石川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第8号	石川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第9号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第10号	石川町手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第11号	石川町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第12号	石川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第13号	石川町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第14号	母畑レークサイドセンター条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第15号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第16号	石川町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第17号	平成30年度石川町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	全 員
議案 第18号	平成30年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案 第19号	平成30年度石川町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	全 員
議案 第20号	平成30年度石川町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	全 員
議案 第21号	平成31年度石川町一般会計予算	原案可決	全 員
議案 第22号	平成31年度石川町国民健康保険特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第23号	平成31年度石川町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第24号	平成31年度石川町介護保険特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第25号	平成31年度石川町母畑財産区特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第26号	平成31年度石川町中谷財産区特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第27号	平成31年度石川町土地開発事業特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第28号	平成31年度石川町宅地造成事業特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第29号	平成31年度石川町水道事業会計予算	原案可決	全 員
議案 第30号	須賀川市と石川町との一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託に関する規約の締結に関する協議について	原案可決	全 員
議案 第31号	石川町教育委員会教育長の任命について	同 意	全 員

議案番号	請願・発議	審議結果	
請願 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出 請願書	採 択	全 員
請願 第2号	統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める請願	採 択	全 員
発議 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第2号	統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める意見書	原案可決	全 員

第1回臨時会

1月25日

第1回臨時会は、平成31年1月25日に開催され補正予算1件、契約の締結1件が審議されました。

補正予算の内容は文教福祉複合施設の補修工事の数量増等に要する経費6559万8千円を増額補正するとともに、まちなか公園整備事業の年度内支出が終わらない見込みのため繰越明許費の補正を行う提案がされました。審議の結果は全員異議なく可決となりました。

第2回臨時会

2月1日

第2回臨時会は、平成31年2月1日に開催され基本構想策定1件、条例制定・改正2件、変更契約の締結1件が審議されました。

主な審議内容は、石川町第6次総合計画基本構想の策定について並びに石川町文教福祉複合施設条例の制定について及び石川町公民館条例の一部を改正する条例と、第1回臨時会において補正予算の承認をした文教福祉複合施設整備工事請負変更契約の締結を行う提案がされました。審議の結果は全員異議なく可決となりました。



現地調査を実施

総務産業建設常任委員会

昭和25年に現在のコンクリート固定堰に改築された猫啼堰は、供用開始から65年以上が経過し、機械設備の老朽化と腐食摩耗が進み機能低下が懸念されています。今回、国県の補助事業を活用し、総事業費5600万円にて、ゲート施設の改修と土砂吐水門の補修工事を行うものです。



文教厚生常任委員会

平成31年度から3箇年事業として実施する石川地方生活環境施設組合の老朽化した「ごみ焼却施設」と「し尿処理施設」の更新事業について現地調査を行いました。なお、この改良工事は、震災復興特別交付税等補助金を最大限利用し、総事業費47億円を予定しています。



総務産業建設常任委員会

石川町空家等対策計画について

Q 空家が増えてきているが、今後の対策はどうするのか？

A 人口減少や少子高齢化、核家族化などに伴い、全国的に空家が増加しています。

こうした中、所有者等の管理が適正に行われないう空家においては、倒壊の恐れや景観の阻害など、多岐にわたり問題が生じています。

本町では、このような状況を踏まえ、本年2月に「石川町空家等対策計画」を策定し、取り組んでいくことになりました。

Q 今後の具体的な取り組みは？

A 空家等対策では、所

有者による管理責任を基本に、次の3つの方針で対応します。

1つ目は、新たな空家等の発生予防や所有者への適正な管理を促します。

2つ目は、空家等を有効活用する空家バンクの創設や利活用の支援を推進します。

3つ目は、倒壊の恐れや周辺環境に悪影響を及ぼす特定空家の解消に向けて助言や指導などを行います。



文教厚生常任委員会

Q 4月1日から、住民票・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスが始まったが、その内容は？

A マイナンバーカード（個人番号カード）を利用して、全国のコンビニ等に設置されているマルチコピー機で、

住民票と印鑑登録証明書を取得できるサービスが開始されました。

役場の開庁時間中に窓口まで来られない場合や、町外への外出中で急に証明書が必要になった場合に、お近くのコンビニ等で証明書が取得できる便利なサービスです。是非、カードを取得して利用しましょう。



Q 国の森林環境譲与税の交付額は

A 31年度に200億円、順次伸び 45年度以降には600億円となる



瀬谷 寿一 議員

● 森林経営管理制度について

質問 どのような制度か。

答弁 適切な経営管理が行われていない森林を能力のある経営者に集約すること。それができない森林は、市町村が管理を行うことで林業の産業化と森林の適切な管理を図るのが目的です。

質問 地域林政アドバイザーの活用は。

答弁 非常に有効な制度です。既存の制度と



▲伐採を待つナラ、クヌギ林

森林環境譲与税等を活用しながら森林経営と森林管理を総合的に推進していきます。

要望 森林再生事業の期間の延長と適期伐採を促進する広葉樹の伐採事業を森林再生事業に追加することを国・県に強く要望してほしい。

● 公共墓地のあり方について

質問 本町には、どれくらいの墓地があるか。

答弁 80箇所の墓地があり、うち共同墓地が58箇所、寺院等が22箇所となっています。

質問 墓地の進捗状況は。

答弁 墓地整備の準備として、用地を購入し測量設計を進めています。31年度は、町民ニーズを把握し公営墓地の整備を検討します。

質問 現代の課題を踏まえた墓地の需要調査を。

答弁 専門家や墓地管理者、移住者などの意見を、後継者の問題等を踏まえたアンケートで公営墓地のあり方を検討します。

要望 今後、地域の共同墓地では、過疎化で墓じまいや墓地の放置が進むと思われる。こうした中では、墓地管理ルールの必要性が高い。

まってくる。町も積極的に関わってほしい。

● 水道未普及地域の飲料水確保について

質問 井戸掘削等助成事業の実績は。

答弁 平成29年度が8件で400万円、30年度が現在12件で550万円、100万円以上の事業は29年度で全件、30年度で10件となっています。

質問 100万円以上の事業が多いことから補助金限度額50万円をアップすべきだ。

答弁 補助金額については検討します。

質問 地下水の検査の状況は。

答弁 平成28年度に11件、29年度に16件、30年度に5件となっております。水質についての相談はありません。

Q 児童クラブの運営について

A 受入体制の充実を図ります



小木 芳郎 議員

質問 利用時間や料金について。

答弁 多くの市町村で学校終了後から午後6時30分まで、利用料金については1000円から4000円の範囲となっております。本町は、最大6時45分まで、利用料金は登録料1800円、月額2500円ですが、次年度より3000円とし、土曜日も受け入れを開始します。

質問 野木沢小と沢田小における放課後子ども教室の運営について。
答弁 沢田小37名、野木沢小51名の児童が地域の皆さんや異年齢の

子どもたちと交流を図り多彩なプログラムに取り組んでいます。

質問 野木沢小や沢田小も児童クラブを利用できないか。

答弁 保護者の望む子育て支援や、地区及び学校の状況を調査し今後検討していきます。

質問 利用料金の値上げと延長料金の徴収は子育て世代に負担になるのでは。

答弁 利用時間の延長は指導員の延長になるため、若干の費用負担をお願いしています。

要望 子育て世代に優しい町を目指してほしい。

Q 上水道の整備について

A 浄水場の更新とあわせ、一部給水区域を見直します

質問 上水道の無い地域の今後は。

答弁 飲用井戸給水施設等整備事業と併せて上水道整備に努めます。

質問 上水道整備についてアンケート調査を実施しては。

答弁 上水道の要望については様々な方法で把握していきます。

質問 近隣市町村との連携については。

答弁 広域連携の計画策定に積極的に参加していきます。

質問 水道普及率について今後の見通しは。

答弁 近いうちに一部の区域を見直します。

質問 未普及地区や小集落ごとに近隣市町村と連携は図れないか。

答弁 災害に備える意味でも水道管の連結は重要と考えており、今



▲急がれる上水道整備と消火栓の設置

後、近隣市町村と協議をしていきます。

要望 安心安全、安定的な供給により、更に行政サービスを向上させてほしい。

Q 千五沢ダムにおけるかんがい用水の貯水状況について

A 水不足が生じないよう工事の短縮や貯水時期を早めて水位回復に努めています

Q 「若い世代の減少」対策は「住宅分譲政策強化」を提案

A 若者が住宅を建て、町に住む施策に取り組んで行く



増子美知夫 議員

●町の原動力となつていく、若い世代の人口が他町村より、特に低い

質問 近隣15市町村で子どもの人口割合は最下位で、生産年齢人口も下位にある。この現象が本町の行財政に与えていく影響は何か。
答弁 若年層が少なく近い将来厳しい状況となり、地方交付税が減少し、一般財源にも様々な影響が懸念されます。柔軟性の有る財政運営と課題解決能力の高い行政組織を目指します。

質問 平成31年度以降に取り組む必要がある施策は何か。

答弁 子育て支援事業として18の施策を実施します。新年度は在宅育児支援金や小児予防接種補助金を拡充します。また、子育て世帯住宅取得補助金を新設し、文教福祉複合施設も子育て応援施設として加わります。

●昨年、生まれた子どもは67人で10年前のピーク時の半分になっている

質問 本町の人口減少の大きな要因として「生まれる子どもが少ない（昨年67人で10年前のピーク時の半数に減ってしまった）」。「若い女性が町外に出て行く（昨年70人）」。「県内で子どもの割合がトップの大玉村に調査に行ってきたが、若い世代の定住促進として、

民間活力を生かした分譲住宅施策で目に見える効果が出ている。

答弁 隣村でも15棟の住宅建設で子どもが20人増えたと聞いている。本町も子どもが生まれる施策に取り組めます。

提案 本町の分譲住宅は、平成28年ピーク時の16戸から減少している。時限立法等で、開発行為を不要な規模分譲住宅政策にシフトすべきと提案する。

●本町では初めてのデマンド交通実証実験の課題解決をどうするのか

質問 実証実験結果の課題と今後の取り組みは。

答弁 沢田地区で2ヶ



▲デマンド交通の実証実験（沢田地区）

月間実施しました。アンケートでは、乗り継ぎ・乗降場所・予約方法などの不満が多かったが、運転免許証返納後は利用したいという意見も多く、今後、綿密に検討を行い、2回目の実証実験を予定しています。他の地区においても体制を図りながら取り組みます。

Q 病院誘致はどうなっているのか

A 検討委員会を4月に立ち上げ、6ヶ月で方向性を



根本 重泰 議員

病院、道の駅、浄水場、こども園、大事業が続きます。財政のやりくりは？

質問 検討委員会は。

答弁 町民が求める病院等の役割、機能、規模、運営、費用等必要な事項を調査検討していきます。

質問 要望書の取り扱いは。

答弁 委員会を通して町のスタンスが決まれば要望書を出していきます。

質問 公設民営と町の負担について。

答弁 将来の子どもたちに負の遺産を残してはならないと考えています。また、公設民営は考えていません。

質問 ひらた中央病院との交渉はどうなっているのか。

答弁 大事業ですので、一步一步積み重ねて、相互信頼と相互理解に立っていかなければいけないと思います。

質問 土地の提供という話があったが。

答弁 当初から土地の提供については考えてきたところであり、町民の皆様の理解を得ながら対応します。

要望 透明性をもって、説明責任を果たしながら進めてほしい。

Q 母畑浄水場はいつまでもつのか

▼補修されたパイプ (母畑浄水場)



▲腐食が進む沈殿池 (母畑浄水場)

答弁 平成11年に施設全体の診断をしています。特に沈殿池とろ過池の材料個々の部分の老朽化が進む指摘を受けました。最悪の事態にはならないように、現在努力しています。

Q 水道の広域化は何年後に実現するのか

答弁 水道法の改正では、広域連携を進めるため県が旗振り役となる内容であり、県中地域では具体的な動きはありません。今後は、意見交換等を行っていきます。

質問 老朽管・石綿管の更新は。

答弁 大変重要と考えており、新たな事業費を確保し、順次、計画的に進めていきます。

和久観音山鉱山跡
ペグマタイト鉱床を
国指定にする
プロジェクトを！

質問 石川町歴史文化基本構想が完成した。国は、保護から地域資源としての活用を指導している。国指定を目指してはいかがか。

答弁 前向きに取り組んでいきます。

Q 旧雇用促進住宅のアスベスト除去費用は

A 1棟当たり約3千万円と試算しています



渡辺 実 議員

質問 アスベストをめぐる支援機構との交渉経過を伺う。

答弁 アスベスト不検出で購入したが、改修の実施設計時に検出された。除去費用負担と契約の解除を含めて交渉し、双方の調査結果、アスベストが下地調整塗材にあることで共通認識を図った。

質問 1棟全体にあるのか。

答弁 建物全体にある認識で交渉しています。

質問 4棟全体にあり、1棟の除去費用を伺う。

答弁 おおむね3千万

円と試算しています。

質問 1棟の改修費用は約2億円となる。解体費用も4棟で約4億円になる。若者用住宅の改修が1年も手付かず、除去費用負担で済むものではない。考えを伺う。

答弁 顧問弁護士と相談しながら進めます。

質問 契約解除に重点を置いた交渉を。

答弁 基本は除去費用負担を求めていきます。

Q 町委託事業の安全確保と事故対応は。

A 民間保険加入を勧めます。

質問 道路や施設整備で、行政区や団体への委託事業やボランティア事業の安全性の確保と事故への対応を伺う。

答弁 不慮の事故等が発生するケースもあり、全国町村会総合賠償補償保険制度の対応と民間保険の活用もお願いしています。

質問 地域整備事業でのヘルメットの着用、民間保険料の上乗せの考えは。

答弁 保険料上昇分などを調査し、対応します。

Q 入札監視委員会の設置の考えは。

A 国の指針を踏まえ、検討します。

質問 工事入札の発注計画の公表状況を伺う。

答弁 当初予算分は年度当初に公表。補正予算分は公表していません。

質問 工事以外の発注計画公表の考えは。

答弁 工事の実施設計

や基本設計業務委託、施設の管理など拡大していきます。物品購入の公表は調査のうえ判断します。

質問 再度、入札監視委員会の設置の考えを伺う。

答弁 国の適正化指針を踏まえ、検討します。



▶活用が待たれる旧雇用促進住宅

Q 病院誘致の考え方と現状は

A 相互理解と相互信頼で町民の期待に応えるべく取り組む



瀬谷 京子 議員

【答弁】 町民が求める病院の役割、機能、規模、運営、費用、その他必要な事項です。

【質問】 31万円の予算は。

【答弁】 検討委員会5回分の予算と考えています。

【質問】 これまで誠励会とはどこまで話し合いをされたのか。

【答弁】 ひらた中央病院さんとは町の方針を決めてから話し合いをして決めていきます。

町の負担割合や財源をどこから持ってくるか、早めに結論を出して対応していく考えです。

財政負担の面から考えると、公設民営は厳しいですが、土地は町で準備して歓迎します。今後は、誠意をもって



◀ 町内の病院待合室の現状

相互理解と相互信頼のもと、町民の期待に添うべくしっかりと取り組んでいきます。

Q 予約型乗り合いタクシーは

ドア・ツー・ドア

が効率的では

A 再度協議します

【質問】 沢田地区で予約型乗り合いタクシーの実証実験をしたが、条件の違う山橋、母畑、中谷など、山間部での

実証実験の予定は。
【答弁】 他地区でも32年度から実証実験につなげたいと考えます。

【質問】 町は福島交通11路線バス運行に、年5200万円の補助をしているが検討の余地は。

【答弁】 公共交通網形成計画に路線バスの再編が謳われていますが、他の市町村と協議し、廃線や減便を前提に公共交通全体の再編を行う考えです。

【質問】 高齢者の運転免許証自主返納者は、石川署管内で29年は78人、うち町民が40人だった。多くの自治体で返納者に対し、タクシーや路線バス料金の助成や支援策をしているが、本町の考えは。

【答弁】 公共交通の整備と共に、支援も検討したいと考えております。

【質問】 検討内容は。

【質問】 検討委員会の構成は。
【答弁】 副町長を入れて福祉関係3名、医療関係3名、産業関係、又各種団体では若い人を入れ、全部で12人位と考えています。

Q ポイ捨てを防止する条例制定の考えは

A ごみのない町づくりは必要、改めて検討する



中村孝太郎 議員

質問

石川町を訪れた方に気持ち良く観光していただきたいと思いますが、犬の糞や空き缶、ごみのポイ捨ては目に余ります。石川町の現状と対策、「ポイ捨て禁止条例」の制定の考えを伺います。

答弁

町内の環境美化については行政区や各種ボランティアの協力を頂き概ね良好な状態を保っています。

ポイ捨てごみ問題は町民の協力で改善できるものと考えており、環境美化の啓発推進を図ります。

質問

認識の違いを感じ



▲気持ちが良いですか？

●子ども虐待対策

質問

目黒区や野田市など児童虐待事件が相次ぎます。厚生労働省によると、平成29年度の児童虐待相談対応件数は過去最多の13万3

78件と年々増加しています。石川町の現状を伺います。

答弁 平成30年度に県中児童相談所が対応した石川町の件数は11月現在3件、これは警察・医療機関などから直接児童相談所へ連絡があり、対応した件数です。

質問 子ども虐待対策として、多くの自治体では子どもを虐待から守る条例が制定され、東京都等は新たな制定もしています。石川町の対策を伺います。

答弁 国や県のガイドライン等に基づき、関係機関と適宜適切な対応に努めています。また、子育て世代包括支援センターを設置し、相談支援や情報提供など切れ目のない支援を行っていきます。

●奨学金償還支援制度

質問

能力や学習意欲

があっても経済的理由から進学を諦めざるを得ない生徒のために町には奨学金制度があります。利用状況と取り組みを伺います。

答弁 現在の貸与者は6名で、今年度の貸与額は324万円です。返還している方が16名です。また、中学校、高校に周知し、広報誌やホームページでも利用促進を図っています。

質問

若年層の流出抑制と流入促進、定住と就業促進を目的に奨学金返還支援制度のある市町村もあります。教育の負担軽減と人口減少対策として、奨学金償還支援制度を制定する考えがないか伺います。

答弁 この制度は負担の軽減と定住を促進するものと考えますので、検討して参ります。

町民の意見を聞く会

体育施設の整備

- 町には公認を取っている体育施設が少ない。陸上、野球、サッカーなど、いずれか一つは公認の取れる施設として整備してほしい。

地域公共交通の整備

- ① 交通弱者対策に取り組んでいるが、自宅まで送迎できるようにしてほしい。
- ② 高齢者のためのタクシー運行などにより、まちなか活性化のための工夫が必要。

地域自治の確立

- ① 自治センターでは、町に対し色々な地域要望を出しているので、議会でも支援してほしい。
- ② 施設の老朽化が進んでいるので、町民が集まれる施設に改修してほしい。

健全な行財政運営

- ① 税の未納問題にしっかりと取り組んでほしい。
- ② 公共事業についてあまりにも追加が多すぎる。公金を使うのだからもっと慎重に事前調査すべきである。議会でも原因究明が必要ではないか。

病院関係

- 人口減少、財政難が予測される。町民は何も知らないなので、分かる周知方法を講じてほしい。また、議会は慎重な対応をとるべきである。

県立石川高校の存続

- 全国から生徒を集めるという発想も必要ではないか。特徴ある学校に。

議会運営・議会(議員)活動

- ① 議会の政策提言を評価する。一般質問の中でも、議員として施策の提案を入れてほしいし、町民はそれを期待している。
- ② 議会においてもインターネットを活用して情報発信や入手を行いながら、他に遅れない行政を進めてほしい。
- ③ 開かれた議会として活発な議会活動となるよう期待している。地区民の声を町行政に反映させてほしい。



▲母畑自治センター会場



▲石川町公民館会場

第7回 議会報告と

1月15日、16日、17日の3日間、町内6地区で第7回議会報告と町民の意見を聞く会が行われ、夕方の忙しい時間帯にもかかわらず多くの方々に参加いただきました。

町全体の課題から各地域の課題、議員としての活動への要望など熱意あふれる提言、意見要望が交わされました。

昨年の町民の声を聞く会のその後の報告、30年度の議会での審議経過への質問など議員としての活動に真剣かつ厳しいご意見もいただきました。今後のまちづくりに生かせるよう真摯に取り組んでいきたいと考えます。

各地区参加者

石川地区	……21名
沢田地区	……18名
山橋地区	……17名
中谷地区	……18名
母畑地区	……22名
野木沢地区	……40名

若者・子育て支援

- 1 保育所の送迎を実施してほしい。
- 2 宅地の無償貸与や固定資産税の減免等と抱き合わせて、若い世代の負担軽減を図ってほしい。

道の駅整備

- 1 道の駅について具体的な提言がなされ有難い。一日も早く実現できるよう願います。
- 2 道の駅建設を通じて町の三大資源（鉱物、観光、加工品等）をアピールしてほしい。

企業、地場産業の支援

- 議会、執行部には、町内の立地企業訪問、意見交換等を通じて、各企業が抱える課題等、現状把握活動に本腰を入れてほしい。

観光の振興

- 町の情報発信が少ない。町のホームページは周知や情報伝達手段としては平均的だが、再度見たい内容とはなっていない。町を知りたいという人に応えられるものを発信してほしい。



2月20日に開催された平成30年度福島県町村議会議長会定期総会において、町村議会議員として15年以上在職の永沼一夫議員が表彰されました。長年の功績が認められ、3月定例会の初日に下山田議長より伝達表彰が行われ、同僚議員から祝福の拍手が送られました。



報告します
議会の活動
自治功労表彰

未来に向かつて ・ 高校生の声

学法石川高校 3年 関根 恵

「努力をすれば必ずできる」



関根恵さん

私はチアリーディング部の部長を務めており、現在、6月に行われる東北大会に向けて毎日の練習に励んでいます。1月に行われた全国大会では、2部門で入賞でき、今まで努力をしてきて本当に良かったと思います。同時に全国のレベルの高さに驚き、まだまだ努力が必要だと痛感しました。次は、優勝で

きるよう、部長として更に努力を重ねたいと思います。

また、部活動との両立を目指し勉強にも力を入れていきます。1年生の時はテストの成績で良くない教科がありました。しかしこのままではいけないと思い、授業に集中し、家庭学習にも力を入れて取り組んだ結果、成績が上がり頑張ればできるのだと実感しました。人は何事も努力をすれば必ずできるようになるのだと、部活動と勉強を通し学びました。



▲ダンスドリル2018ウィンターカップで全国優勝皆さんに、笑顔と元気を届けます！

チアリーディング部は、石川町の様々なイベントに参加させていただいています。涙を流しながら見てくださる方も多く、私たちの心も温まります。これからも皆さんに元気を届けられるよう、高い目標を持って頑張ります。

**議会を
傍聴しませんか**
6月定例会「一般質問」
は**6月10日(月)**
の予定です。

議会広報編集 特別委員会

委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重

編集後記

新元号「令和」が

始まりました。日本人にとって元号は、自分たちの歴史を映す鏡、インデックスの様に思います。文明開化と言われた明治、大正、デモクラシー、大戦と復興があった激動の昭和、大きな自然災害が続いた平成。それを経て今があります。私たちも目の前の課題に「多様性と寛容」をもって、一步一步乗り越えていきたいと思えます。令和の二文字のように「心美しい日本文化を育んでゆく」誇れる国であるよう願います。
根本重泰